

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①第52回北海道中学校陸上競技大会/第76回国民体育大会陸上競技大会北海道選手選考会
- ②放課後児童クラブ夏祭り開催/長期休業中の学習会実施/上厚真小学校での遺跡発掘調査
- ③厚真町小中一貫教育の推進を目指して/世界の昆虫展・むかわ箆しブリ力展開催
- ④成人式実行委員の募集/天体観望会・プラネタリウム投影会開催/リトアニア競歩選手を応援/7月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

第52回北海道中学校陸上競技大会 女子砲丸投 中島愛梨さん(厚真中3)、川村羽海さん(厚南中3)がワンツー!!!

男子砲丸投 兼本洸瑛くん(厚南中3)も5位入賞!



▲表彰台1位・2位を独占し壇上で笑顔を見せる中島さん(左)と川村さん(右)

7月27日～28日に帯広市帯広の森陸上競技場で第52回北海道中学校陸上競技大会が行われ、女子砲丸投で中島愛梨さん(厚真中3年)が11m68で優勝、川村羽海さん(厚南中3年)が11m44で2位に入賞しました。また、男子砲丸投では、兼本洸瑛くん(厚南中3年)が11m31を記録して5位に入賞しました。

中島さんの優勝は、厚真中学校として女子では史上初であり、現在中島さんの指導にあたる大垣崇さん(豊沢)以来23年ぶりの全道制覇となります。

このほか、安達陽くん(厚南中3年)、濱島悠希くん(厚南中3年)、中島花奏さん(厚真中1年)、長尾結愛さん(厚南中1年)がこの大会に出場し、総勢7名の厚真っ子が全道の舞台上で大活躍しました。



▲5位入賞の兼本くん



▲砲丸投選手としては小柄な2人ですが、中学女子では希少な「回転投法」の技術を駆使して栄冠をつかみました。(左)中島さん、(右)川村さん。

第76回国民体育大会陸上競技大会北海道選手選考会 女子円盤投

快拳!!! 中学生が高校生を破り全道制覇!!!

中島愛梨さん優勝、川村羽海さん3位



▲表彰式の様子。中島さん(中央)と川村さん(右)

7月17日～18日に旭川市花咲陸上競技場で行われた第76回国民体育大会陸上競技大会北海道選手選考会が行われ、少年共通女子円盤投において、中島愛梨さん(厚真中3)が35m84で優勝、川村羽海さん(厚南中3)が34m93で3位に入賞しました。

この種目は、中学3年生から高校3年生までの年代で行われるため、中学生の優勝はとても珍しいことです。中島さんは「優勝はうれしいが、目標は北海道中学記録(36m22)の更新なので、また次の大会に向けて練習を頑張りたい」と抱負を語りました。三重国体の選手選考は、来月の北海道選手権大会の結果と合わせて決定されます。

このほか、少年B男子砲丸投では、兼本洸瑛くん(厚南中3)が6位入賞するなど、町内の中学生が好成績を残しました。



▲円盤を投げる中島さん

2年ぶり！ 放課後児童クラブ夏祭り開催！

夏といえば、お祭り。厚真町内の放課後児童クラブでは、7月27日に厚真地区、8月3日に上厚真地区で、夏祭りを開催しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止しましたが、今年度は十分に対策をとった上で、両地区ともに開催することができました。

かき氷やヨーヨーすくいなど、お祭りらしいブースがあり、お店の看板や提供内容はすべて、子どもたちが自分たちで考えて作っています。「自分たちの行事は自分たちで作る」というコンセプトのもと、企画段階から子どもたちが関わり、お客さんとしてではなく、当事者意識を持ちながら取り組める行事で、とてもすてきな思い出ができました。



厚真「仮装ブース」



上厚真「かき氷ブース」

子どもと地域に接点を 長期休業中の学習会実施

今年度も町内の小中学生を対象にして、厚南地区は7月26、27日（延べ参加者63人）、中央地区は29、30日（延べ参加者73人）の計4日間、長期休業中の学習会を実施しました。

この取組は、長期休業中の学習習慣や生活習慣の定着を目指すことや、異学年との学び合いによる交流のほか、地域の方々と子どもたちが関わる機会を創出することを目的としています。そのため、講師は、地域で子どもたちの育ちを支える「あつまるねっと」のボランティア4人に協力していただきました。今後も、子どもと地域とのつながりを意識して取り組んでいきます。



中央地区（小5～中3）



厚南地区（小1～小4）

上厚真小学校での遺跡発掘調査

アイヌ民族のホッキガイの貝塚などを調査

6月17日から7月12日にかけて、上厚真小学校の出入口町道の拡幅工事に伴う上厚真遺跡発掘調査を実施しました。短期間の発掘調査でしたが、予想以上の貴重な成果がありました。

特に、今から約500年前のアイヌの人々の送り儀礼を行った跡地からは、大量のホッキガイやエゾシカの骨、刀、ホタテガイ、炭化したクルミなどが見つかりました。海岸から約4.6km内陸の地点でのホッキガイ集中は大変珍しく、北海道内でも初めての発見例です。このほか、約2,000年前の縄文時代の焚火跡や約900年前の擦文土器、発掘調査出土の縄文土器としては町内最古の貝殻文土器（約7,500～8,000年前）が出土しました。

上厚真小学校の高台は縄文時代以降、現代に至るまでの人々の暮らしが営まれてきた歴史があり、安全な高台であったことが発掘調査によって改めて実証されました。発掘調査の様子は上厚真小学校の授業や登下校時の児童たちも見学を訪れ、地層や出土したホッキガイ、エゾシカの骨など興味津々に見入っていました。



約500年前のホッキガイの集中



たくさん出土したエゾシカの骨

厚真町小中一貫教育の推進を目指して —厚真町教育研究所の設立— 「厚真の未来を語る子 ～思いをつなぎ、未来を拓く～」

これは、平成31年度よりスタートした厚真町小中一貫教育の目指す子どもの姿・子ども像です。具体的には、中学校3年生で、ふるさとの未来や自分の将来について深く考え、その思いを力強く語る15歳の姿をイメージしています。このイメージを具現化させるために今年度、厚真町教育委員会の付属の教育機関として「厚真町教育研究所」を設立いたしました。

厚真町教育研究所では、厚真町内のすべての小中学校教職員を所員として、ふるさと教育、学習、英語教育、特別支援教育、養護教諭、事務の6つの部会で調査・研究を推進しています。特にふるさと教育に関わっては、町内の事業者の方々の温かいご支援をいただき、体験的な活動を通してふるさと厚真の魅力を知るとともに、厚真の未来、そして自分の将来を考える貴重な機会となっております。

来年度には、これまでの小中一貫教育の成果検証と新たな取組の視点を得ることを目的とした「厚真町小中一貫教育研究大会」の開催を予定しております。町内4小中学校すべてが授業公開を予定しておりますので、ぜひ、ご参観ください。

これからも、小中一貫教育のねらいである「学校、家庭、地域が一体となって義務教育9年間の連続した学びを構築し、新しい時代を担える子どもの育成」を目指し、より一層、活動を充実させてまいりますので、町民の皆さんのご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。



ふるさと教育 上厚真小3年「キツツキの生態について」

世界の昆虫展・むかわ竜レプリカ展開催

青少年センターでは小中学校の夏休み期間、「世界の昆虫展」、「むかわ竜レプリカ展（むかわ町経済恐竜ワールド戦略室の協力）」が開催されました。

期間中、町内外から世界の昆虫展に402人、むかわ竜レプリカ展には293人の来場がありました。

昆虫展では青く輝く羽がきれいな「モルフォチョウ」、3本の長いツノがある「コーカサスオオカブト」など、世界各地の珍しいチョウやカブトムシ約3,000点の標本を展示しました。子どもたちは、「すごい！本物？」と歓声を上げ、昆虫図鑑で虫を調べていました。

むかわ竜レプリカ展では、むかわ町穂別地区で発見されたハドロサウルス科の植物食恐竜「カムイサウルス・ジャポニクス」（通称むかわ竜）5分の1ミニレプリカを展示しました。その迫力は損なわれることなく、見事に再現されておりました。

世界の昆虫展は毎年夏休みに開催しており入場は無料です。来年もぜひまたご覧になってください。



昆虫標本を見学の後、昆虫図鑑で虫を調べる園児



親子でむかわ竜レプリカを見学

成人式実行委員の募集

令和3年度厚真町成人式に向けて、今年度から、成人式の企画・立案に関する実行委員を募集します。下記対象の方で、興味がある方は、厚真町ホームページもしくは下記QRコード（電子申請）より申し込みをお願いします。

内 容 令和3年度成人式の企画・立案

（10月から3回程度、実行委員会を開催予定です。）

対 象 平成13年4月2日から平成14年4月1日の間に出生し、本町に住民票を置いている方及び本人が町外へ転出している方、保護者などが本町に在住している方

※本人も保護者も町外へ転出している場合でも、厚真町の成人式に参加できます。下記までご相談ください。

申込期間 令和3年8月10日～9月3日

問 合 せ 教育委員会
社会教育グループ
☎27-2495



天体観望会・プラネタリウム投影会開催

8月5日（木）、天体観望会、プラネタリウム投影会が開催され、25人が参加しました。

天候不良により日程を4日から5日に順延しての開催となりましたが、その分星空に恵まれました。プラネタリウムでは、夏の星座などの解説を行い、また、屋上では天の川の無数の星々を見ることができました。天文台の大きな天体望遠鏡からは、土星、木星がはっきりと観察でき、参加者からは「土星の輪が見えた」「本物の木星だ、素晴らしい」と、感激の声が聞かれました。

今後、秋と冬にも天体観望会を予定しています。大きな天体望遠鏡で、普段見ることができない星空を観察してみませんか。参加をお待ちしています。



天文台にある大きな天体望遠鏡で土星、木星を観察しました。



リトアニア競歩選手を応援！

厚真・むかわ・安平の3町でホストタウン登録を行ったリトアニア共和国の競歩代表3選手が8月5日、6日に札幌市で開催された東京オリンピック陸上競歩に出場しました。5日に男子20キロ競歩に出場したマリウス・ジュカス選手を宮坂町長、西野副町長、遠藤教育長、町職員が同国国旗を手にテレビで応援しました。競歩は両足を同時に地面から離れることなく歩くことを義務付けられていて、違反するとペナルティーエリアに2分間入るなどのルールがあり、マリウス選手もペナルティを受けながらも無事完走しました。事後の交流会は中止となりましたが、応援を通して交流が図られました。



陸上競歩に出場したリトアニア代表選手を応援する町職員

7月定例教育委員会

7月29日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項◆

教育長行事参加等の動向／厚真町議会総務文教常任委員会所管事務調査について／厚真高等学校教育振興会総会について／第1回厚南地区学校運営協議会について／上厚真小学校公開研究会について／第2回中央地区学校運営協議会会議について／第1回厚真町教育委員会外部評価委員会について／令和3年度第2回公立高等学校配置計画地域別検討協議会（胆振東学区）について／中村奨学金、近藤奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金給付者の決定について／放課後子ども教室・夏休み特別教室（ほか4件）

◆議案・協議事項◆ なし

◆その他◆ なし

★問合せ★

教育委員会学校教育グループ

☎27-2494

図書室だより

青少年センター図書室
 TEL 27-2495 (平日)
 TEL 27-2321 (土日)

夏の思い出 ～ 本と虫と恐竜と ～

毎年、7月から8月にかけての青少年センターには普段より多くの来館者が来ます。それは夏休み恒例の「世界の昆虫展」があるからです。さらに今年は、5分の1サイズのむかわ竜レプリカをむかわ町のご好意により展示することができました。レプリカをご覧になった方からは「思ったより小さい」との感想をいただきましたが、実物は高さ3.5m長さ8mにもなりますので、このサイズだからこそ厚真町の図書室でも展示できたものです。模型やカムイサウルスについてのパネルを作ったり、穂別博物館が公開している解説動画を活用するなどいつもより賑やかな展示になりました。

標本やレプリカを図書室で展示することは一見関わりのないようにも見えますが、展示が図書室へ足を運ぶ動機になり、展示をみて疑問に思ったことを図鑑で解決できたりと深い学びにつながったようです。今後も本と「何か」を結び付けて展示を通して考えること学ぶことにつながるような企画を提供していきます。

読み聞かせボランティア わたぼうし活動メンバー募集

「わたぼうし」は月に1回、ボランティアで放課後子ども教室の活動時間内に小学校へ訪問し1～3年生の児童を対象に読み聞かせ会を開いているグループです。活動は今年で18年目を迎えます。

活動に興味がある方は図書室カウンターまでご連絡ください。わたぼうしさんまで取り次ぎます。



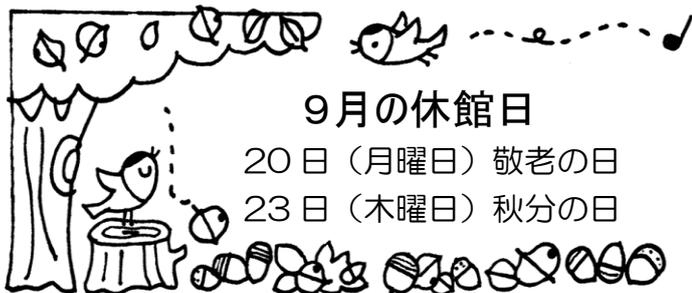
蔵書点検のお知らせ

9月6日から10日、図書室蔵書点検を行います。これは図書室の蔵書管理や貸出返却が適正に行われているかをチェックする作業です。点検期間中、通常通り図書室をお使いいただけます。また、お手元に利用が終わった図書室の本や雑誌、北海道立図書館から借り受けている図書がございましたら、速やかに返却してください。



感染拡大防止にご協力ください

- ・体調が悪い時、または家族の中に体調が悪い方がいる時は、外出を控える。
- ・図書室へ来るときは、マスクを着用して、入口で検温、消毒、緊急連絡先の記入をする。
- ・図書室内では常にマスクをして会話を控え、短時間の利用にとどめる。



9月の休館日

20日(月曜日) 敬老の日
 23日(木曜日) 秋分の日

- 青少年センター図書室開館時間
 午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
 午前9時から午後7時(火・木)
- 厚南会館図書室
 午前9時から午後5時(月～日)
 ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

9月の「おはなしのびっこ」は 30日(木)10時30分から11時まで
 場所は 青少年センター1階 絵本コーナー です。

☆放課後子ども教室☆

子どもたちが夏休みに入ってからというもの、夏らしい暑い日が長く続きました。今年は例年以上に、プールなどの水遊びを楽しんだという子も多かったのではないのでしょうか。今年の夏もコロナ禍ということで、自由な旅行やお出かけはなかなか難しかったと思いますが、子どもたちからは、町内や近隣市町にキャンプに行った話、おうちでバーベキューや花火をした話など、楽しい夏の思い出がたくさん語られています。どんな状況下でも、楽しさを感じられるということは、とても大切です。

夏休み期間中、子ども教室の通常教室（平日の活動）はお休みでしたが、夏休み特別教室として、5プログラム4日間の活動を行いました。4日間とも雨の心配よりも、熱中症の心配が先に立つほど、天候に恵まれ、参加者数延べ97人の子どもたちとともに、良い時間を過ごすことができました。

特別教室では、人や産業、自然環境、文化など厚真の地域資源を活用し、地域の魅力をより深く体験的に学ぶ場を提供したいと考えています。今回は、浜厚真海岸でサーフィン文化を肌で感じる海遊び、町の7割を占める森林に親しむ森の遊び場づくり、様々な種類のトンボの群生地でもある大沼野営場での昆虫採集、夏らしい水辺での遊びを求めて、隣町・むかわ町穂別での川遊びのプログラムを企画・実施しました。クマの出没情報があり、森遊びの会場を急ぎよ、変更しなければならないアクシデントはありましたが、厚真町の自然環境の豊かさや、文化の面白さを感じられる体験活動になったと思います。また、各プログラムでは地域内外より、サーフィンの愛好家や、日頃から自然と親しみ、専門的な知識や技術を持つスタッフのみなさん、そして、子ども教室の卒業生にも活動を支援いただきました。子どもたちと同じ目線に立ち、発見やチャレンジに寄り添ってくれたおかげで、子どもたちはイキイキと遊び尽くすことができましたと感じています。こうした地域資源との出会いが、子どもたちの視野を広げ、地域への関心を高めると同時に、自分が育ったまち・厚真町への愛着が深められます。参加してくれた子どもたち、活動への理解をいただき、送り出してくださった保護者のみなさん、ご協力いただいたスタッフのみなさんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。



ギンヤンマをゲット☆

中学生から社会人まで、協力いただいたスタッフのみなさんに感謝！